

**令和7年度 アンケート結果及び自己評価結果**  
**（ドットジュニア 千葉中央第3教室（児童発達支援・放課後等デイサービス））**

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、定期的に自己評価を実施しています。  
 自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見ご要望をもとに、業務サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R7/11/17～R7/12/5>	事業所の取り組み状況、改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R7/11/17～R7/11/25>
環境 体制 整備	訓練室等の適切なスペースの確保	教室内が清潔で安全に配慮されており、安心して通わせられるという声が多く見られました。	日常的な清掃や点検を継続し、安全で衛生的な環境の維持に努めています。  視覚的な工夫を取り入れ、児童が見通しを持って過ごせる環境づくりを行っています。  今後は欠勤等も想定した職員配置を意識し、より安定した体制の確保について検討していきます。
	職員の配置状況	送迎や職員の見守り体制についても、感謝の意見が寄せられています。	
	事業所内の安全対策	一方で、職員配置については日によって不安を感じる、分かりにくいといった声の一部見られました。	
	環境設備の衛生管理	教室の約束事について、児童によっては分かりづらい場面があるとの意見がありました。	
	障害特性への配慮		
業務 改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル	日々の支援や運営に対して、大きな不満は少なく、概ね良好な評価が見られました。	朝礼終礼を通じて、支援内容や業務の振り返りを行っています。  業務が特定の職員に偏らないよう、役割分担や手順の見直しを進めています。  今後は業務の標準化と引き継ぎ体制の強化を図っていきます。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保	一方で、職員の異動や入れ替わりが多いと感じるという声の一部ありました。	
	運営支援システムHUGの運用		
適切 な 支 援 の 提 供	適切なアセスメントの実施	個別支援計画に基づいた支援が行われていると感じている保護者が多くいます。  子どもの成長を実感しているという声が多く寄せられました。  専門職が関わる点を評価する意見も見られました。  支援内容の伝え方について、配慮を求める声の一部ありました。	支援前の情報共有を行い、計画に基づいた支援を実施しています。  活動内容に変化を持たせ、さまざまな経験ができるよう工夫しています。  今後は、支援内容の伝え方や資料の渡し方について、より配慮を強化していきます。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	送迎時にその日の様子を丁寧に伝えてもらえる点を評価する声が多くありました。  相談しやすく、親身に対応してもらっていると感じている保護者が多くいます。  今後の進路や将来に向けた支援への期待も見られました。	日常的な情報共有を大切にし、保護者との連携を行っています。  学校や関係機関と情報を共有し、支援に活かしています。  今後は将来を見据えた相談機会の充実について検討していきます。
	学校や保育園等との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレントトレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	契約時や日々の支援について、丁寧な説明があり安心できるという声が多く見られました。  職員の対応が誠実で相談しやすい点を評価する意見が寄せられました。  一部、書類の渡し方や職員体制について改善を求める声がありました。	契約時の説明や日々の声かけを通じ、信頼関係の構築に努めています。  個人情報の取り扱いに配慮し、書類の受け渡し方法について改善を検討しています。  今後も分かりやすい情報発信を意識していきます。
	苦情トラブル対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の提供		
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	怪我や体調不良時の対応については、安心感があるという声が多くありました。  一方で、非常時に対する不安を感じる声も一部見られました。	緊急時対応のマニュアル整備と職員への周知を行っています。  避難訓練や研修を継続して実施しています。  今後も訓練内容や周知方法の見直しを行います。
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	BCPと安全計画の策定と研修等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		

満足度	子どもが安心感を持って通所しているか		
	子どもが通所を楽しみにしているか	子どもが楽しみに通っている、安心して過ごせているという声が非常に多く見られました。	安心して通える居場所づくりを今後も大切にします。
	現状抱える不安や悩み	通所を開始して良かったという意見が多く寄せられました。	体験活動や社会性を育む活動を継続充実させていきます。
	通所を開始して良かったこと	活動内容への期待も見られました。	保護者の声を教室運営に反映していきます。
	今後期待したいこと		